



環境基本計画推進会議 「水と緑・安心の野洲」

市では、市民・事業者・行政の協働により進めていく環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」（愛称：えこっち・やす）を設立しています。

今回は、ニュースレターに加え、えこっち・やすの活動内容について6つのプロジェクトのうち3つのプロジェクトについてご紹介いたします。「やってみたい！」という活動がございましたら、ぜひ、活動にご参加ください。推進会議へのご入会もお待ちしております。残り3つのプロジェクトについては第2弾でご紹介いたします。



プロジェクト名 まちなかの緑づくりプロジェクト

取組み主体 緑の推進委員会、やす緑のひろば

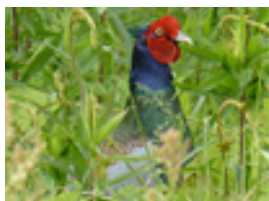
＜活動趣旨＞野洲市には、三上山、希望が丘、大篠原などの山間部には樹木の緑があるが、平野部では、河川整備や宅地開発などで緑地は少なくなっている。公共施設、民有地、事業所などにおいて緑化活動を推進する。特に、市三宅地先の野洲川河辺の森は、市街地に近く、平野部での身近な緑として重点的に整備し、自然豊かな森として次の世代に引き継ぐ。

野洲川河辺の森（通称：野洲川自然の森）は、野洲川改修工事で廃川となった北流跡の約4haの森で、当初は竹繁茂、人が立ち入れない荒廃した竹林でしたが、今では、市内の保育園、幼稚園の子どもたちが日常の野外散歩に訪れるほどに竹が伐採され、散策路が整備されてきています。整備活動は月3回、第一火曜日、第三土曜日、第四木曜日9～12時、主に竹を伐採していますが、樹木の森を創ることを目指し、竹伐採したエリアでは、自生した実生の若木が、草で覆われてしまわないように、周辺の草刈り、支柱立てなど育成しており、早いものは背丈より大きくなるまでに成長しています。



その他、チェーンソーでの倒木整理、水路跡への丸太橋架設、そして竹トンネルや、櫓、竹シーソー、竹の平均台など子供たちの遊具作りなども行って、初夏には、「北野小カブトムシ幼虫観察会」、「タケノコ採り」、秋には「自然の森ふれあいイベント」など、子どもたちが自然観察や、森探検で、楽しく自然を学習する機会も提供しています。

この森にはカブトムシが沢山います。またキジにもよく出会います。他のエリアからの外来の植栽は一切持ち込まず、昔からのこの地の植生・自然環境を守り、生き物にもやさしく、人々に癒しを与え、子どもたちも、カブトムシ採り、など楽しめる、自然の森を目指しています。



＜問合せ＞緑の推進委員会事務局：都市計画課 077-587-6324

プロジェクト名 ごみの資源化プロジェクト

取組み主体 エコ資源部会

＜活動趣旨＞目標は増え続けるであろう「日常生活ごみ」の削減。日々の暮らしからみた3R（①リデュース：ゴミを出さない②リユース：再利用する③リサイクル：新たなものに再生する）の普及活動とともに、くらしの見直しなどへのきっかけを提案します。

製造～消費の各段階から、排出されるゴミの削減は大きな課題です。何かできることはないかと考えておられる方、学習や情報交流しながら検討を踏まえて市民へ提案していく活動はいかがでしょうか？ごみ問題に関する取り組みへの参加をお待ちしています。

＜環境学習会＞

燃えるごみのあとには「灰」が残り埋め立てられます。リサイクル可能なごみの資源化の一例として紙類があります。使用済みの紙を溶かし新たな紙に再生できる過程を体験してもらう作品づくりの講座を行っています。



＜廃食油の回収＞

廃食油処理方法は人それぞれ、都市圏の調査では、排水口に流すという実態も報告されています。資源活用や環境やエネルギーの負荷軽減のために、毎月第4土曜日に廃食油の回収受付を続けています。また、廃食油を使ったエコキャンドルづくり講座でリサイクルへの理解をお知らせしています。

＜陶磁器のリユース＞

リユース品の譲渡会の物品の一部である陶磁器のリユースを検討してきました。集まる品数の割合が高いことや破損した物品のリサイクル（再生後、陶磁器の原料化）の仕組みがあることを知り、先進的に取組んでおられる方々との交流をふまえ、実現の可能性があると思いました。市民の協力（燃えないごみにしない）のもと供給と需要のバランスがとれ、楽しい取り組みになればと思っています。



＜リユース物品の譲渡＞

中小型家具類、家庭用品（雑貨、台所用品など）、チャイルドシートなどをごみとして埋め立て処分せずに新たに使い手に無償譲渡の場を提供しています。使ってくれる人を探すお手伝いをしています。

＜問合せ＞エコ資源部会事務局：環境課 077-587-6003

プロジェクト名 ごみ減量プロジェクト
 取組み主体 ごみを減らそうプロジェクト

＜活動趣旨＞平成 19 年度より家庭ごみの大半を占める、容器包装類を中心とした買物ごみの減量を図り、ごみの出ない美しいまちを目指してオリジナルの人形劇、紙芝居、雑がみ分別などを小学校、学童保育所、高齢者施設、自治会などに出張講座して啓発している。



市内小学校 4 年生を対象にメンバー手作りの人形劇を上演し、ごみを出さないように啓発しました。皆、真剣に聞いてくれました。

◇◇◇プロジェクトの活動風景◇◇◇

市内で開催されるイベント「やすまる広場」で大きな紙芝居「ほんとにゴミかな」を上演しました。



雑がみ分別ポスターを作成し、市内各コミセンに掲示して市民に啓発しました。また、市内スーパー店頭にてマイバック持参キャンペーンを実施しています。

～平成 30 年度より「食品ロス削減」をテーマに寸劇を作成しています～

風呂敷ドレスで
「みんなで減らそう」



☆☆ 一緒に楽しく活動しませんか！☆☆



＜問合せ＞ごみを減らそうプロジェクト事務局：環境課 077-587-6003